

# 文化財ニュース いわき

第 45 号

平成 6 年 11 月 16 日

財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市中央台東いわき公園内

TEL 0246(29)0391

## 解明されつつある磐城郡衙跡

平成2年度から範囲確認調査を行ってきました根岸遺跡の北側一帯は、今までの調査で奈良・平安時代における磐城郡衙の正倉院（穀倉群）であることがほぼ明らかになりました。今年度調査しています北東側には、倉庫跡のほか管理棟、あるいは役所と考えられる建物跡（廂付建物跡）が、同じ場所に何回も建て替えられて見つかっています。平成6年11月19日（土）、午後1時から現地で調査成果の説明会を行います。



たくさんみつかると建物群（調査も大変です）



北の空からみた根岸遺跡と周辺地区（台地上の北側一帯が正倉院です）



1992年2月13日撮影

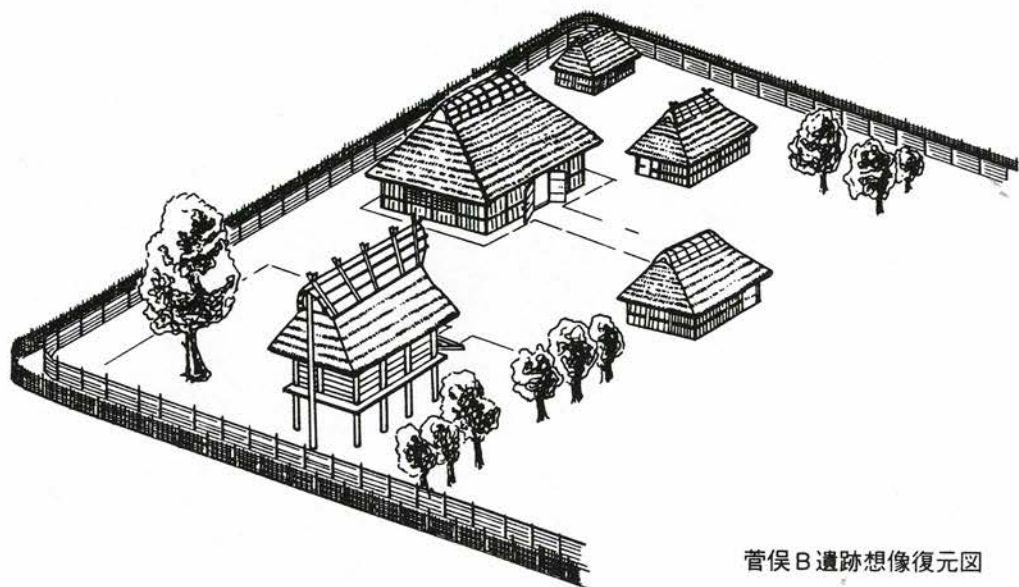
## 菅俣B遺跡住居跡復元図

県立博物館企画展で紹介

12月4日(日)まで県立博物館で開催されている企画展「あいず おおつかやま こふん会津大塚山古墳しょうてんの時代」は、古墳時代の始まりに焦点をあてて、3～4世紀の県内の時代背はい景をもとに、東日本の古墳とその副葬品ふくそうひんを紹介している。

この企画展図録の中に、昨年調査された古墳時代前期の泉町の菅俣B遺跡住居跡復元図があるので紹介しよう。

菅俣B遺跡の建物群は、しゅちよう やかた首長の館と考えられるもので、一辺が約10mの大型住居跡を中心にいくつかの建物群から構成される。その中で棟持柱むなもちばしらのある高床式たかゆかしきの建物は倉庫と考えられる場合が多いが、ここでは何らかの祭儀さいぎが行われた建物の可能性が強いようである。建物群は2重の柵列さくれつに囲まれ、いわゆる「豪族居館ごうぞくきょかん」と呼ばれるものである。



菅俣B遺跡想像復元図

**お知らせ** 前号より紙名を変更いたしました。「発掘ニュース」から「文化財ニュースいわき」となりました。号数は継続しておりますが、今までより幅広い情報を提供できるかと思えます。引き続きご愛読願います。